

消防団の活動 を紹介します

消防団は、消防署などと連携して火事や地震、台風などの災害から、市民の生命や財産を守るために活動しています。



東部方面隊合同訓練の様子

津山圏域消防組合の指導を受けながら、いざという時のために定期的に訓練を行っています。火災の初期消火や行方不明者の捜索など、地域に根差した消防団の役目を果たすため、日頃から、近隣の消防団と連携を取って、地域の中で活動していきたいです。



東部方面隊 方面隊長 保田直實さん（野村）

訓練



津山市消防団本部 部長 江草宏美さん（羽保）

講習

自分の周りの人を助けたいと思い、女性消防団に入りました。夏休み前には、小・中学校の保護者を対象にAEDや心肺蘇生の講習会を行うなど、さまざまな活動を行っています。いざという時に備えて、みなさんにも救急救命法を知ってもらいたいですね。



心肺蘇生法講習会の様子



沼自主防災組織の消火訓練の様子

地域の自主防災組織の立ち上げに協力したり、毎年、防災訓練の中で、火事の恐さを知ってもらっています。これからも、消防活動の他にも自分が生まれ育った町内の人々と協力して、気軽に挨拶ができる地域づくりに貢献していきたいです。



北部方面隊東苦田分団 第6部部长 末澤文智さん（沼）

地域との連携

津山市消防団員募集



入団資格 市内に在住または勤務する18歳以上の人
待遇 消防団員は特別職の非常勤公務員です。年額報酬や退職報酬金（5年以上勤務の場合）、公務災害補償などが受けられます
※詳しくは、お問い合わせください
岡津山市消防団事務局（危機管理室内） ☎22-1190

県北では
初の受章

津山市消防団が

日本消防協会特別表彰

『まとい』を受章しました

市消防団が、長年の消防団活動とその功績を評価され、公益財団法人日本消防協会の優良消防団表彰、特別表彰「まとい」を受章しました。



岡津危機管理室 ☎22・1190

特別表彰「まとい」とは

全国の消防団の中から、毎年、10団体に限り、長年の消防団活動が、特に優秀な消防団に対して、日本消防協会から授与されるもので、受章要件も厳しく、消防団の表彰の中で最も名誉ある表彰です。

県内では平成23年度以来3年ぶり、県北では初めての受章です。3月17日、宮地市長への受章報告が行われました。



津山市消防団 団長 土肥祥嗣さん（田町）

消防団としての最高の栄誉を頂いたことを誇りに思います。諸先輩方から受け継いだ地域での消防団活動、また、毎年、消防団員の操法技術を競う消防操法訓練大会でも優秀な成績を収めていることなど、日頃の活動成果が認められて、大変喜ばしく思っています。